

高根の鍔絵巡り

鍔絵巡りシリーズ・高根編

- ・距離 約15km
- ・所要時間 4時間30分
- ・スタート・フィニッシュ 社会福祉協議会駐車場
- ・コース

社会福祉協議会駐車場→箕輪新町(鍔絵3件)→養福寺のフジ→箕輪・海道(鍔絵2件)→建部神社→箕輪・大林(鍔絵1件)→セブンイレブン(トイレ)→箕輪・大坪(鍔絵2件)→中蔵原(鍔絵1件)→クラインガルテン(昼食・トイレ)→小池(鍔絵2件)→上蔵原(鍔絵2件)→伊勢大神社のケヤキ→村山東割(鍔絵1件)→武の井酒造(トイレ)→社会福祉協議会駐車場



南北に長い高根町に饅絵は広く存在します(私の知る範囲では28カ所)。描かれた内容は大黒・恵比寿・鶴・亀・龍と種類が多いのですが、須玉同様に多い「松に鷹」もデザインが多様です。須玉には見られないカラフルな七福神が少し見られるのは、津金・須玉と小淵沢の間に位置して小淵沢・長野方面の饅絵文化の流れなのでしょう。ここでは高根町の南西部である箕輪新町・箕輪・蔵原・小池・村山北割の饅絵14カ所を巡ります。またコースの最後には知る人ぞ知る、マイナーな酒蔵：武の井酒造もありますので、辛党にもおすすめ。

以下このコースで見ることができる饅絵をいくつか紹介します。



① 色づかいをせず描かれた「鶴」。シンプルですが上品な作品です。



④ 「松に鷹」、鷹はこのほかこれとは左右対称の構図のものも見られます。たぶん同じ作者なのでしょう。似た構図のものの中でもこの作品は顔つき、松の葉など一段と技が磨かれて完成度の高い作品です。



⑦ 俵の上に座った「大黒様」、でも俵がよくわかりませんね。



② 「松に鷹」ですが、これは筆で書いたような繊細さがあります。あまり見かけない作者なのでしょう。道路からは植木の間からかろうじて見る事ができます。



⑤ 釣り上げた鯛を抱えた恵比寿様。青を基本とした色づかいがきれいです



⑧ 「松に鷹」、羽ばたこうとしているような羽を広げたこの構図、この職人さんの作品は高根・須玉にたくさんあるようです。



③ 敷地内に二つの蔵が並ぶ家があった作品。何てリッチなお宅でしょうか。これは龍の象形文字だと思うのですが……。



⑥ 「盃に亀」、珍しい絵柄で楽しい作品です。亀の甲羅を浮き上がらせて、立体的に表現しています。



⑨ これも「松に鷹」、でも雰囲気違います。丑鼻の部分が大きく、実物は存在感があります。